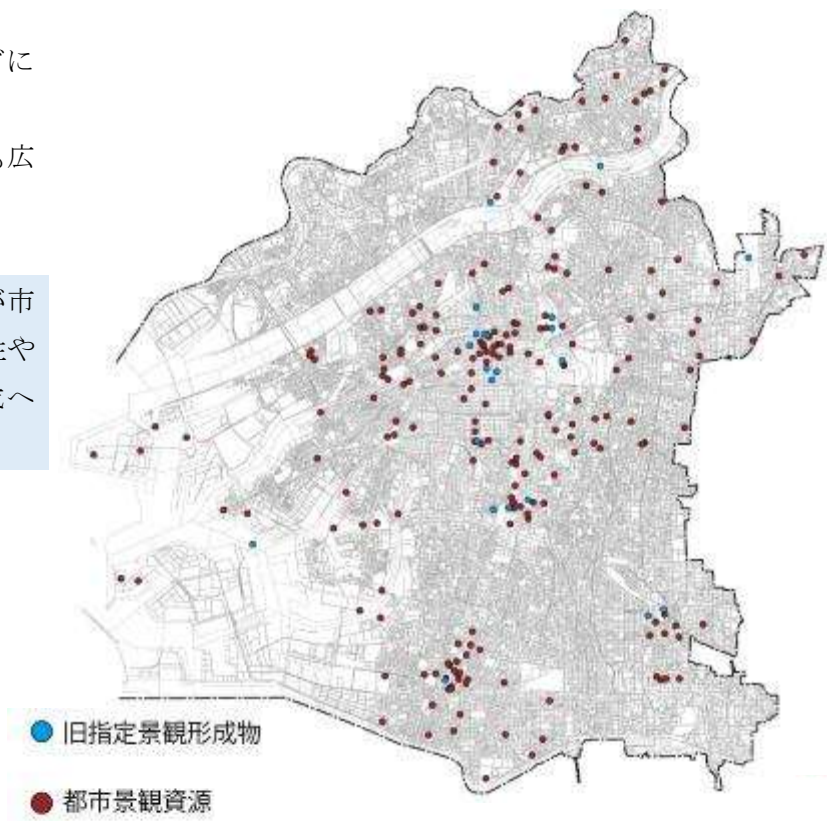


○都市景観資源

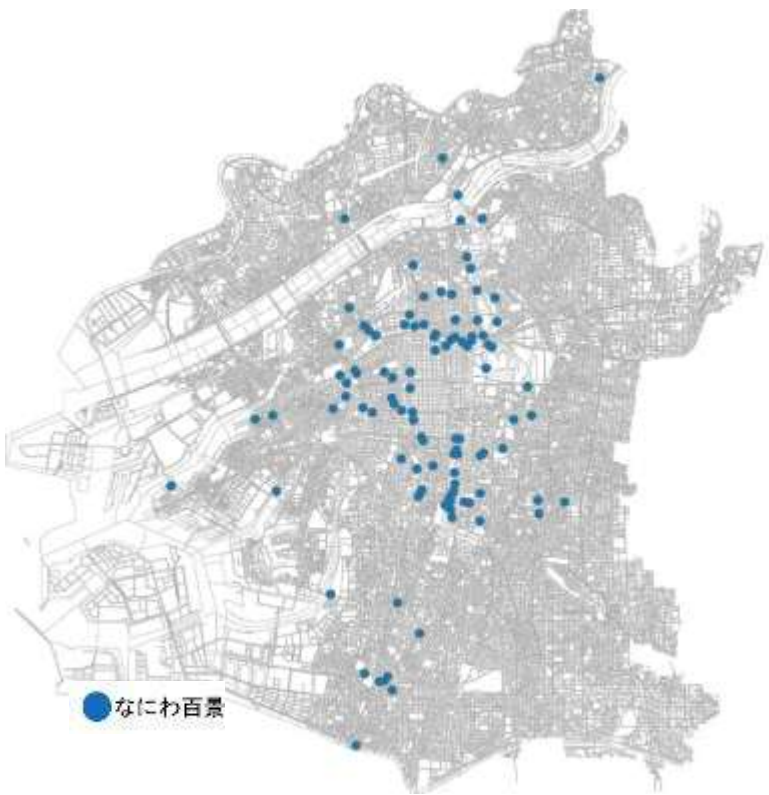
- ・「北船場」「夕陽丘」「住吉大社周辺」などに集積が見られる。
- ・一方、都市景観資源は一般的な市街地にも広く分布している。

・人々が愛着を感じ、親しまれている資源が市街地内に数多く分布し、背景にある歴史性や周辺環境との関係などを含めて景観形成への活用が望まれている。



○絵図に描かれた風景（浪花百景）

- ・天満、夕陽丘～天王寺、住吉大社等に集積が見られる。
- ・古くから生活との関係が密接であった水辺や、寺社などの景観が多く描かれており、現在も当時の面影を残すものも多い。



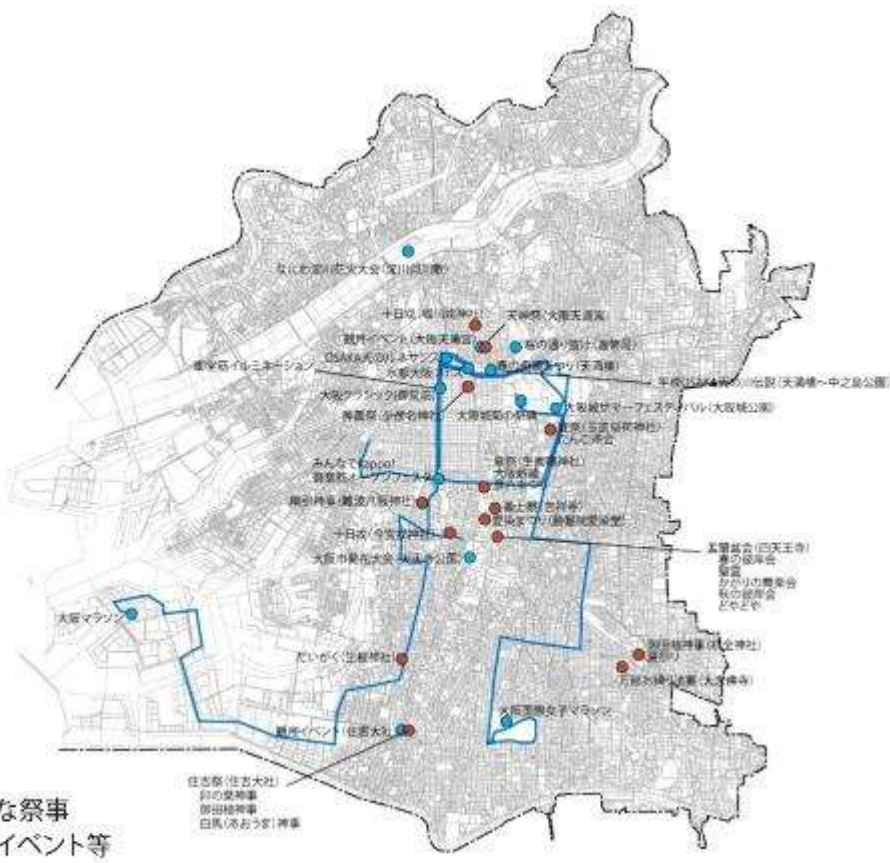
○イベントの風景

- ・伝統的な祭事は主要な社寺により執り行われている。
- ・現代のイベントは都心部の中之島～天満橋、御堂筋付近で多く実施されている。

・伝統的な祭事が執り行われる地区では、一時的なにぎわいを生むだけでなく、景観に意味性を付加する。

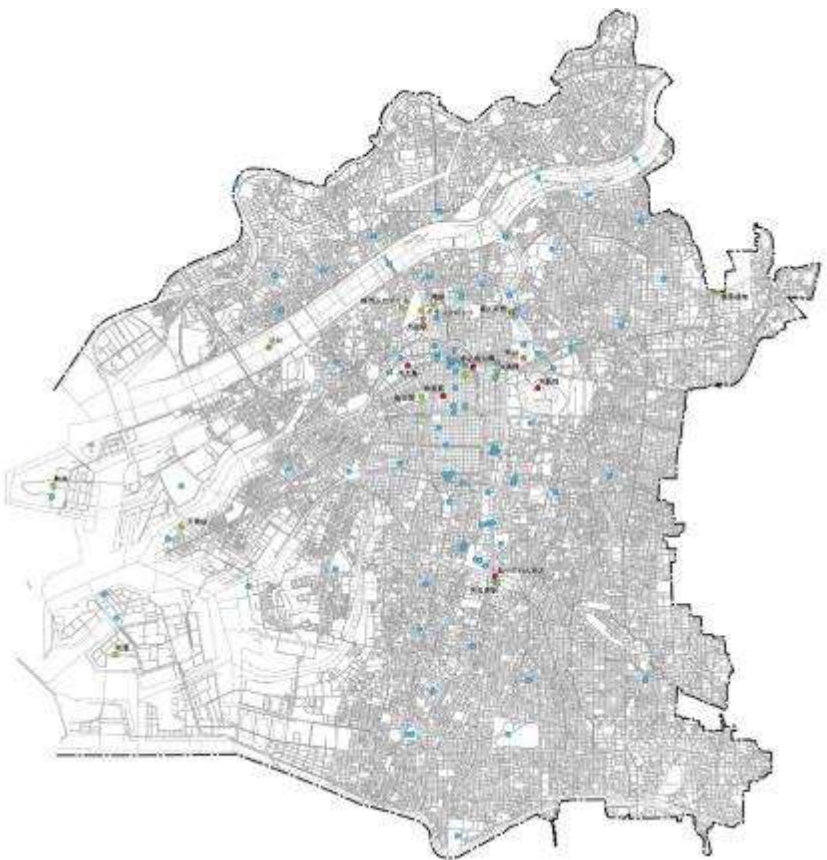
・イベント等は、人通りの多い地区で、開催される傾向にあり、さらなるにぎわいや活気を付加している。

・水辺といった新しい大阪のにぎわい拠点形成されつつある。



○市民が好きな風景（市政モニター）

- ・大阪城に対する意見が最も多い結果(80)となっている。次いで中之島関係(66)、大阪駅周辺関係(26)となっている。
- ・市民が好きな景観には、「その背景にある歴史性」や「潤いある緑や水辺」、「活気のある雰囲気」、「大都市らしさ」などのテーマ性が見られる。



【関連計画等】

○ランドデザイン・大阪

- ・ランドデザイン大阪では、大都市・大阪の「大きな方向性」を示しており、将来像として以下の内容が記載されている。

■多様な価値を創造する大都市大阪の実現～圧倒的な魅力を備えた“都市空間”の創造

- ・個別開発にとらわれることなく、ストック、ポテンシャルを活用し圧倒的な魅力があり、住み、働き、楽しみたいと思える都市空間をつくります。

➤ 都市魅力あふれる大都市・大阪

- ◆みどりや水辺など圧倒的な都市魅力と品格ある都市景観
- ◆歴史・文化を身近に感じ、働き、学び、遊び、暮らせる都市

①仕組みのグレート・リセット

『「行政主導」ではなく「民間主導」』

- ・需要（利用）者側の視点からの取り組み
- ・行政の一律規制の弾力的な見直し
- ・象徴的エリアのデザインは、行政が決めるのではなくエリアを熟知する民間等を主体に進める

②ハードのグレート・リセット

『みどりを圧倒的に増やす』

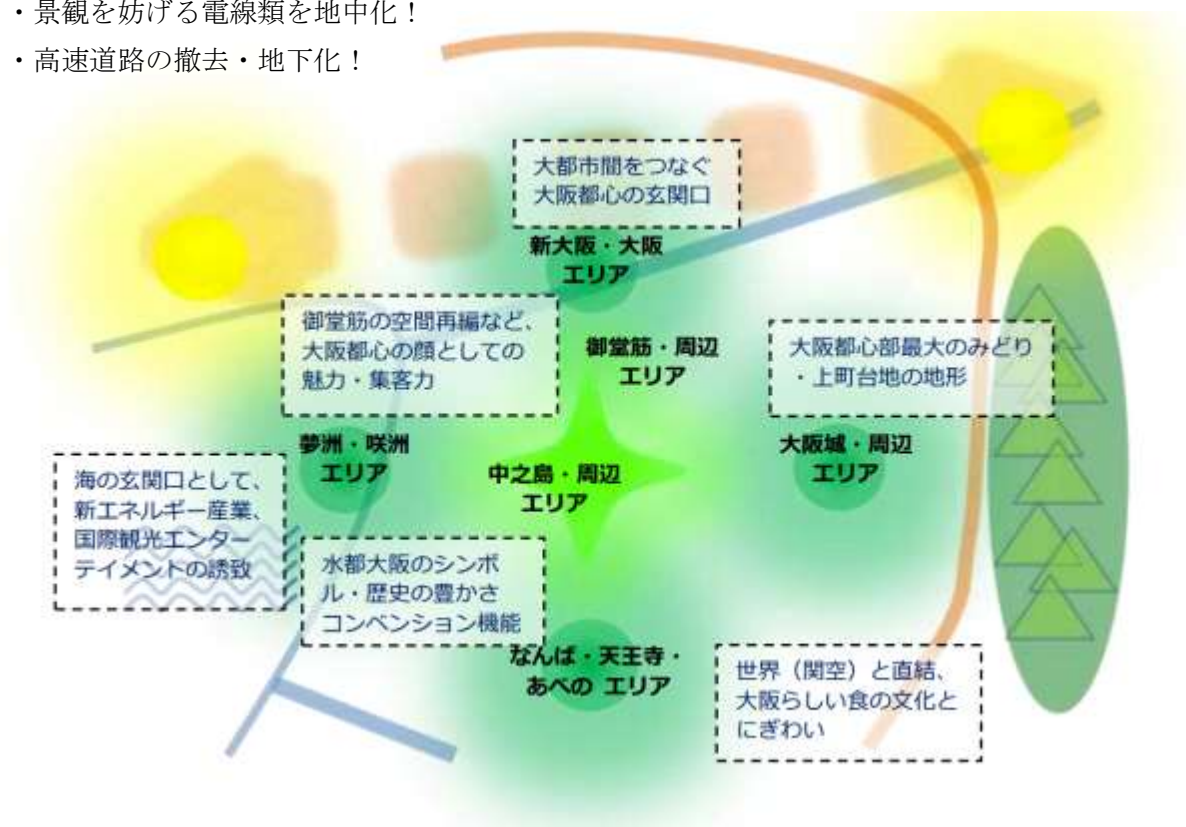
- ・通過交通を極力排除し、都心に圧倒的なみどりを！
- ・圧倒的なみどりを都心部から周辺山系までつなぐ！

『水を綺麗によみがえらせる』

- ・川の水を水都大阪として誇れるレベルに！
- ・水と親しめる空間を創出！

『街並みを美しく生まれ変わらせる』

- ・景観を妨げる電線類を地中化！
- ・高速道路の撤去・地下化！



○大阪都市計画区域マスタープラン

- ・大阪都市計画区域マスタープランにおいて、「都市景観に関する方針」として、下記の事項が記載されている。

■景観形成を促進する取組方針

① 地域特性に応じたきめ細かな景観計画の策定

大阪府は広域的観点から景観形成施策を進めていますが、よりきめ細かな誘導が必要です。本区域では、景観計画を策定し、景観形成が積極的に進められているところですが、今後も、きめ細かな景観計画を策定し、地区計画、景観地区等の都市計画や住民による景観協定、建築協定等、地域のルールづくりを促進することにより、地域の特性を活かした景観形成を進めることが重要です。

② 無電柱化の促進

電柱や電線は、多くの日本人にとって子供の時から見慣れたものであり、無意識に許容しているという意見もありますが、景観を大きく阻害しています。本区域では、幹線道路等における電柱・電線類の地中化は進んでいるものの、さらなる促進が必要です。そのため、電柱・電線のない景観に対する意識の醸成や事業費等の課題解決のための検討を進めます。

③ みどり空間の充実

都市景観の要素として、みどりは極めて重要であり、都市空間のみどりの充実を図ります。

④ 屋外広告物の規制・誘導

建築物や周辺環境との調和に配慮しつつ、地域のまちづくりと連携し、屋外広告物の規制・誘導を図ることが必要です。

■優先的に景観形成を進めるのが望ましい地区

本区域では、より一層、多くの人に都市の魅力を感じてもらう観点から、以下のとおり優先的に景観形成を促進します。特に、御堂筋沿道やうめきた等の都市再生緊急整備地域や「水都大阪 水と光のまちづくり構想」における水の回廊エリア等において、先導的に取組を促進します。

■優先的に景観形成を進めるのが望ましい地区

〔まちの顔となり、多くの人々が行き交う〕

- ①鉄道駅周辺地区
- ②主要幹線道路沿道地区

〔地域の人々が誇りと愛着を感じ、多くの人々の交流を生む〕

- ③河川等の自然環境地区
- ④歴史的・文化的な建造物、遺構、まち並み等を有する地区

〔質の高い生活空間や新たなにぎわいを創造する〕

- ⑤都市再生緊急整備地域

○新・大阪市緑の基本計画

- ・新・大阪市緑の基本計画において、基本方針として、下記の事項が記載されている。

■基本方針①：“みどりの基盤”を構築する

- ・みどりの基盤として、「美しいうるおいのまちなみの創出」が位置づけられており、美しいまちなみの形成につながるみどりづくりの推進等が図られる。
- ・その他、同様に、「災害に強い都市空間の創出」「人と自然が共生する都市環境の創出」「安全・安心に憩い、余暇が楽しめる場の創出」が位置づけられている。

■基本方針②：市内及び周辺につなげていく“みどりのネットワーク”を構築する

- ・みどりのネットワークとして、「みちみどりのネットワーク形成」「みずみどりのネットワーク形成」「鉄道みどりのネットワーク形成」が位置づけられており、河川沿川や幹線道路沿線、鉄道沿線における緑化の推進等が図られる。

■基本方針③：大阪の個性を特徴づける自然・歴史・文化の“みどりの骨格”を形成する

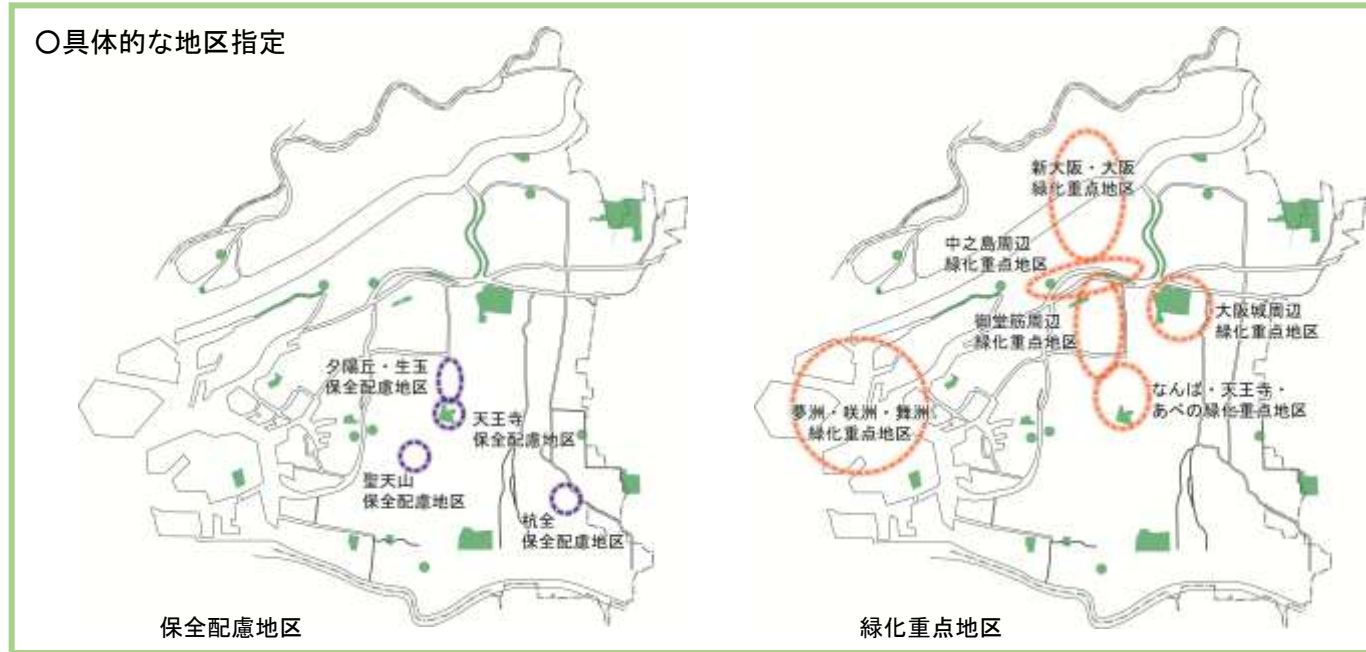
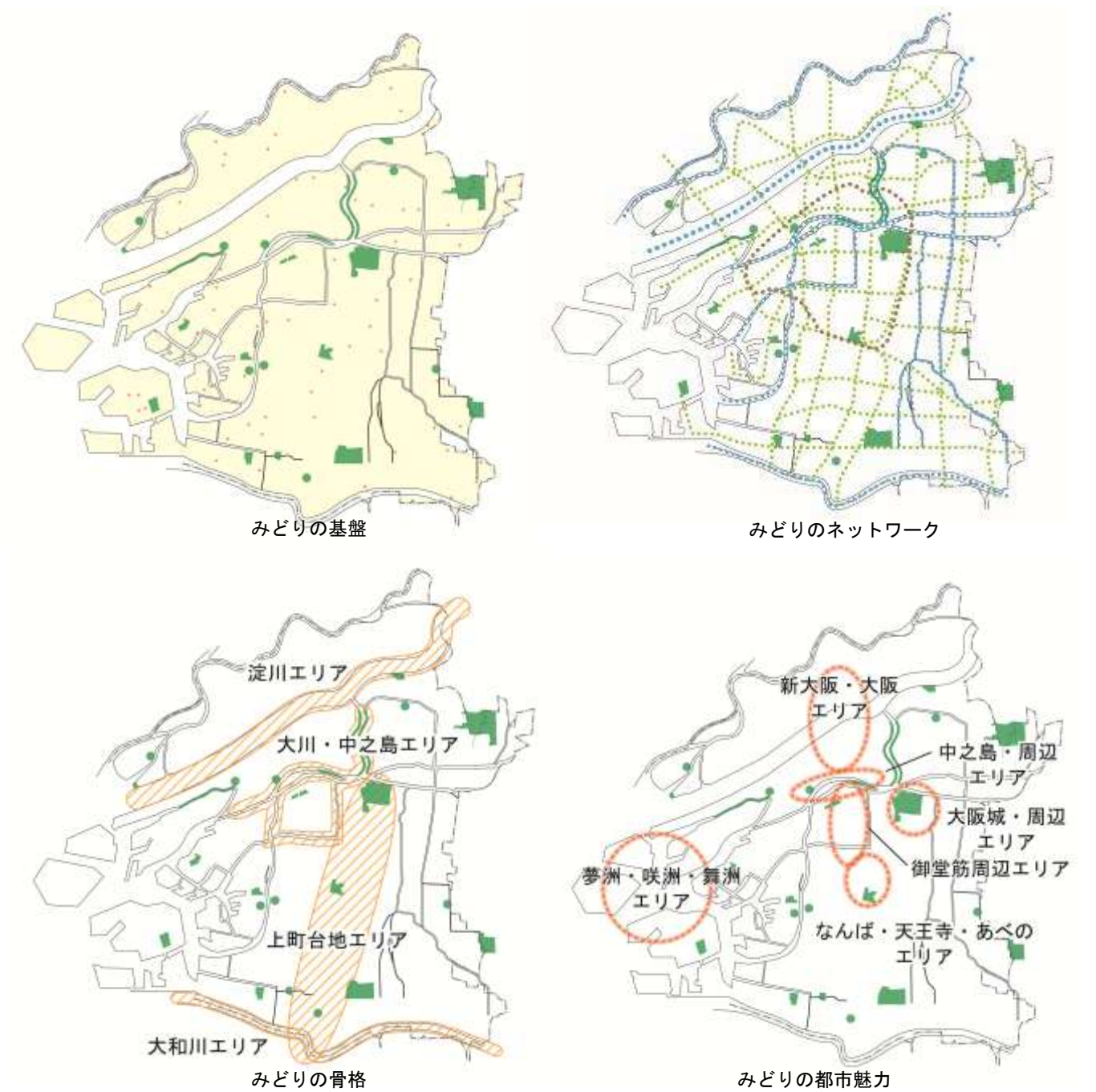
- ・みどりの骨格として、「大阪の歴史・文化を感じられるみどりの保全」が位置づけられており、保全配慮地区の指定による上町台地のみどり豊かな景観保全が図られる。
- ・「水都大阪を感じられる水辺の緑の保全・創出」が位置づけられており、水都を代表する都市景観の形成等が図られる。
- ・その他、「広大で豊かな自然環境との共生」が位置づけられている。

■基本方針④：既存ストックと民間活力を最大限活かし、“みどりの都市魅力”を創出する

- ・みどりの都市魅力の創出として、「都市魅力・集客力の向上」、「みどりあふれる都市イメージの創出」が位置づけられており、都心部の観光拠点の緑化や緑視効果の高いみどりの誘導、多様な緑空間の確保等が図られる。

■基本方針⑤：みどりのまちづくりを推進する“仕組み”を構築する

- ・みどりのまちづくりを推進する仕組みの構築として、「市民・事業者主体によるみどりのまちづくりの推進」、「多様な法制度の活用や新たな手法による都市緑化の仕組みづくり」「市民・事業者・行政によるみどりのまとうづくりの推進」が位置づけられており、地域による公園管理・運営の仕組みの検討や民間活力の導入等が図られる。



○大阪光のまちづくりアクションプラン 2020 構想

- 1) 光の東西軸：東は大阪城エリア、天満・桜ノ宮エリアの一帯とし、中之島を経て、西はUSJ、天保山へと続く、大川・堂島川・土佐堀川に沿った軸。咲洲・夢洲地区までを含む。
 - 2) 光の回廊：八百八橋と呼ばれる大阪の資産である多数の橋が架かる、水上の回遊動線
 - 3) 光の南北軸（御堂筋）：大阪駅周辺エリアを北端とし難波・湊町、更には天王寺・アベノまでを南端とした御堂筋を中心とする軸線。
 - 4) 光の庭：光による新たな魅力創出を担う面的な広がり。個性的な近代建築や、緑豊かな公園などを対象とする。
- ・その他検討対象エリア：大阪駅周辺、OBP、大阪城公園、難波・湊町、天王寺・アベノ、USJ、天保山、咲洲・夢洲地区についても、常設化が検討されている。

○今後 10 年の主なプロジェクト

